

‘09-7-20

平成 21 年 7 月度第 2 回街づくり委員会議事録

日時：’09-7-17（金）19:30～21:30

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席者：雨宮、奥村、寺井、原田、森、上原、戸所、杉本、橋本、中井、竹吉、浜田、
西村、赤木、大林、泊、名島、乾

欠席）西本、志賀、川上、杉中、小川、堀井、植田、大室、森川、

議事内容：

1. 大津市からの報告（名島）

膳所駅周辺整備基本構想関連の動きにつき、以下の報告があった。

- ① 膳所駅舎橋上化の基本設計を、5 月西日本コンサルタントに委託・発注した。
H24 年に工事着手し完成は 18 ヶ月後の見込み。
- ② 新南北自由通路、南北駅前広場等の基本整備計画の策定を 7 月、入札により
「サンワコン」に決定し発注した。
- ③ 低未利用土地利用計画についても 7 月に契約、発注した。
尚、事業の具体的内容については次回委員会にて報告を受ける。

2. 各検討委員会からの報告

① 運営組織検討委員会（乾）

街づくり株式会社を設立するに当たり、第 1 回目として株式会社とはいかなるものか、設立するための手順と必要手続き、設立のための経費などにつき解説があり、設立には司法書士の力が必要なこと、初期経費として最低でも 40～50 万円が必要との説明があった。（配布資料参照）

② 運行検討委員会（杉本、中井）

近江鉄道との第 3 回目の話し合いを先方営業所長と持ったが、その結果は前回までの話し合いの内容とは大きく後退し、当面、近江鉄道との協働体制はリセットされたとの報告があった。即ち、

- ・ バス路線の変更、新規開発は会社として検討する意志はない。
- ・ 膳所駅構内には現保有の営業車両は例えジャンボタクシーでも大型車両とみなされ、道交法上入ることは出来ない。

ただし、当方が車両を確保し、運行を業務委託するというのであれば見積もりを出すことは出来る由。車両は実運行車以外に予備車両も必要とのこと。

以上の結果に終わったことから、検討委員会ではヤサカ自動車との交渉、車両リースなどの方策など次なる手段を模索して行くとの報告もなされた。

③ 採算性検討委員会（橋本）

運行内容と採算性は不可分のものであり、現在運行形態などその内容が未確定のため、その結果を待つて動いて行くとの報告があった。ただし、いずれに

しても、資金確保は絶対必要事項であり、その方策についての研究、各種モデルを作成してのシミュレーションなどを行うとの報告もあった。

④ 学区民調査委員会（戸所）

平野学区の活性化に向けて、既実施のアンケート結果の再解析、生活バスの運行に対しての新たなアンケート調査などを検討してゆくとの報告があった。

⑤ 広報委員会（乾）

生活バスの運行に対しては、学区住民から試験運行後の検討の動きを問う声が多い。継続的にマクロ的なレベルの動きを自治連、「ときめき坂かわら版」などを通してオープンにして行きたいとの報告があった。

3. その他

① 平成 21 年度地域経営推進事業への応募について（乾）

「おうみ市民事業プロデュース委員会」の座長である油藤商事青山専務より、表題の国交省国土計画局が行っている事業の紹介があり、淡海ネットを通じてわが街つくる会に検討依頼があった。本事業の内容（一部）は以下の通り。

<趣旨>地域の発意により、周辺市町村などの中心集落に生活に必要な機能を集約化すること、あるいは、基礎集落と中心市を繋ぐ中継基地として機能を強化することをモデル的に実施し、地域づくりの推進を図る。

<事業>・日常生活機能の集約による広域整備重点化モデル

・中心集落の中継機能強化による広域地方整備重点モデル事業

<応募主体>市町村か地域協議会

<対象経費>1 件当たり委託金額上限 1,500 万円

使用対象は事前調査費、実施計画策定用経費、実証調査実施経費（送迎バス等試行用自動車リース料など）、実証調査総括経費。

<事業期間>原則単年度終了。

<応募締切>平成 21 年 7 月 17 日

以上の内容であったが、雨宮会長とも相談の結果、興味はあるものの物理的に応募は困難と判断し、今年度は見送った。

② 8 月度委員会開催日程

第 1 回：8 月 06 日（木）19:30～

第 2 回：8 月 21 日（金）19:30～

出席出来ない場合は事前にご連絡下さい。

以上（事務局）